

令和4年度 事業報告

令和4年度 事業報告書

(自) 令和4年4月 1日 (至) 令和5年3月 31日

1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区みずき野1丁目6番11号	電話番号 025 (211) 8660	代表者氏名 佐藤 隆
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

2 法人の行う事業

※職員数は令和5年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 海老郁夫	職員13名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援3名	施設長 田中 順	職員43名 嘱託医1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援4名	施設長 渡邊晴美	職員46名 嘱託医1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名、 短期入所・日中一時支援3名	施設長 瀧澤千代美	職員48名 嘱託医1名
	多機能型 工房はたや	就労支援事業B型20名 生活介護10名 日中一時支援2名	所長 田中敦子	職員8名 嘱託医1名
	相談支援 わぁ〜らく 総合支援センター	指定特定計画相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	管理者 多賀邦夫	職員7名
	共同生活援助 榎の木 総合支援センター	もみじ 7名 あじさい6名 CHみずき野壺番館7名 CHみずき野式番館5名 さくら壺番館6名 さくら式番館6名 さくら参番館6名	管理者 渡邊晴美	職員26名
	居宅介護等 みっと	居宅介護、同行援護、行動援護 新潟市移動支援	管理者 多賀邦夫	職員3名
	生活介護 おおらい 総合支援センター	生活介護20名 日中一時支援3名	管理者 小西幸弘	職員6名 嘱託医1名

3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	令和3年6月24日	
評議員	真島福一	令和3年6月24日	
評議員	大嶋喜芳	令和3年6月24日	
評議員	小林建	令和3年6月24日	
評議員	長井正雄	令和3年6月24日	
評議員	吉田和弘	令和3年6月24日	
評議員	田中滋世	令和3年6月24日	
理事	佐藤隆	令和3年6月24日	理事長
理事	和田晋弥	令和3年6月24日	
理事	野澤慎吾	令和3年6月24日	
理事	海老郁夫	令和3年6月24日	常務理事
理事	多賀邦夫	令和3年6月24日	
理事	田中順	令和3年6月24日	
監事	鈴木昭	令和3年6月24日	
監事	大原利光	令和4年11月24日	

4 事 業 概 要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・生活介護「工房はたや」、共同生活援助「樫の木」、相談支援「わぁ〜らく」、居宅介護・同行援護・行動援護・移動支援「みっと」、生活介護「おおらい」で、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を運営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

令和4年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

〔新潟みずほ福祉会〕

- 1 理事会を6回（内1回は決議の省略）、評議員会を4回（内2回は決議の省略）開催した。（資料参照）
- 2 GHもみじ、あじさいの創設工事を行い、11月1日に竣工式、11月15日より運用開始した。
- 3 新潟みずほ園創設に伴う建設用地確保等のため、みのり園体育館及び作業所3棟の撤去を行った。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策として、希望する利用者・職員にワクチン接種を行った。また、抗原検査キットの活用や県、市から発出される内容に沿って対応の強化、緩和を行った。
- 5 令和4年3月に発生した職員による利用者に対する虐待事案を受け、「第三者委員会」（弁護士、大学准教授、市社協職員）を組織し、検証、事実認定、再発防止策等のご提言（調査報告書）をいただいた。
- 6 新潟みずほ園をはじめとする三入所施設、法人本部に対して新潟市における「指導監査及び実地指導」が12月下旬に行われた。
また、3月7日に「業務管理体制特別検査」が行われた。
3月30日に「改善勧告」の結果を受け、5月2日に「改善状況報告書」（4月27日開催の第1回理事会承認事項）を提出した。
- 7 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 8 職員の健康診断を健康医学予防協会により実施した。（直接支援職員は年2回）
- 9 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 10 引き続き川原経営総合センターと契約し、人事評価制度の検討を行った。
- 11 地域における公益的取組
 - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
 - ・にいがたセーフティネット事業
- 12 社会貢献活動
 - ・講師派遣（行政、社会福祉協議会、各種福祉機関研修）
 - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
 - ・施設開放、地域行事協賛等
- 13 本年度の苦情申し立てはありませんでした。

5 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

日時及び場所	審議事項
令和4年6月7日 10:00～11:30 総合支援センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業報告 2 令和3年度決算書類 3 令和4年度第1次補正予算 4 経理規程の一部改正 5 就業規則の一部改正 6 みのり園体育館解体等工事の入札 7 短期入所事業所運営規程の一部改正 8 評議員会の招集
令和4年9月28日 10:00～11:30 総合支援センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 定款の一部変更 2 令和4年度第2次補正予算 3 給与規程の一部改正 4 檜の木運営規程の一部改正 5 虐待防止検討委員会規程の制定 6 身体拘束・行動制限廃止検討委員会規程の制定 7 評議員会の招集（書面決議） 8 みのり園外部給排水管切回しその他工事の契約業者
令和4年10月28日 （決議の省略：決議があったとみなされた日）	<ol style="list-style-type: none"> 1 新潟みずほ園運営規程、短期入所運営規程の一部改正 2 みのり園運営規程、短期入所運営規程の一部改正 3 第2みずほ園運営規程、短期入所運営規程の一部改正 4 工房はたや運営規程の一部改正 5 わあ～らく指定特定・児ならびに指定一般運営規程の一部改正 6 檜の木運営規程の一部改正 7 おおらい運営規程の一部改正 8 育児介護休業規程の全部改正
令和4年11月24日 10:00～10:30 総合支援センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 監事候補者推薦 2 評議員選任・解任委員会委員の推薦 3 わあ～らく運営規程の一部改正 4 定款の一部変更 5 評議員会の招集
令和4年12月20日 10:00～11:00 総合支援センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度第3次補正予算 2 檜の木運営規程の一部改正 3 基本財産の処分

	4 評議員会の招集（書面決議）
令和5年3月16日 10:00～11:30 総合支援センター	1 令和4年度第4次補正予算 2 令和5年度事業計画 3 令和5年度収支予算 4 事業所運営規程の一部改正 5 就業規則の一部改正 6 給与規程の一部改正 7 継続雇用職員契約取扱要領の全部改正 8 奨学金貸与規程の創設 9 施設長の任用 10 役員等報酬規程の一部改正

(2) 評 議 員 会

日時及び場所	審 議 事 項
令和4年6月27日 15:00～15:50 アートホテル新潟駅前	1 令和3年度計算書類の承認
令和4年10月13日 (決議の省略：決議があったとみなされた日)	1 定款の変更 2 給与規程の一部改正 3 櫛の木運営規程の一部改正
令和4年11月24日 10:30～11:00 総合支援センター	1 監事の選任 2 評議員選任・解任委員会委員の選任 3 定款の一部変更
令和4年12月28日 (決議の省略：決議があったとみなされた日)	1 基本財産の処分

【新潟みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分 6～40 名・区分 5～9 名 区分 4～2 平均区分：5.7
利用率：施設入所支援100.6%・生活介護93.8%・短期入所60.0%（7月より3→4床へ定員増）
- 2 利用者の動向
令和4年度、入退所はなかった。
利用者の年齢は平均61歳8ヶ月（男性62歳2ヶ月、女性61歳2ヶ月）
最年少34歳、最年長85歳で、65歳以上の方は22名となっている。
- 3 令和4年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
 - (1) 建て替えに向けて国庫補助申請を行ったが採択されなかった。
 - (2) 建物定期検査 118,800円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 877名
 - ② 日中一時支援 延べ 1名
 - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
 - (3) 実習生受け入れ 2名 延べ 46日
 - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 48名
 - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
 - (6) 職員の講師派遣中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症対策として Web での会議やサポーターズカレッジを有効活用した）
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 利用者への面会は、指定された場所で 30 分以内に協力いただいた。
 - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
 - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
 - (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。

- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。
- (7) 8月上旬から9月上旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大によりクラスターが発生した。利用者13名、職員6名の計19名が感染し、うち3名の利用者が入院した。和楽荘と新居住棟をレッドゾーンにして感染者の対応をした。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和4.7月	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.25	夕 涼 み 会	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生のため9月、10月に延期		
9.13	花 火 大 会	園 内	利用者、職員	36名
10.12	お 楽 し み 夕 食	園 内	利用者、職員	66名
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.21	忘 年 会	園 内	利用者、職員	78名
令和5.1.18	新 年 会	園 内	利用者、職員	75名

検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和4.4月 ～12月	胸部X線間接撮影	西蒲中央病院 他	利用者	51名	西蒲中央病院 他
4月～6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職員	43名	健康医学予防協会
5.25	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	51名	嘱託医
10月	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
6.9 12.7	内 科 検 診	園 内	利用者	51名 51名	嘱託医
11.9	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職員	51名 41名	嘱託医
12.7	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処 遇職員	28名	健康医学予防協会
7、9月 12月	コロナワクチン接種④ コロナワクチン接種⑤	園 内	65歳以 上の利 用者	22名 22名	嘱託医
7、9月 12月	コロナワクチン接種④ コロナワクチン接種⑤	園 内	65歳未 満の利 用者	28名 20名	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和 4. 5. 29 10:10～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	18分9秒	利用者 41名 職員 6名	交流ホーム中庭 トイレ棟西側
6. 8 10:30～	総合避難訓練 (通報訓練・消火 訓練・避難訓練)	11分30秒	利用者 39名 職員 10名	居住棟奥
9. 14 10:10～	水害避難訓練	14分58秒	利用者 37名 職員 12名	地域交流 ホーム1階
11. 30 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 地元消防団立会い	10分10秒	利用者 36名 職員 13名	居住棟奥
令和 5. 2. 22 10:30～	地震想定訓練	13分55秒	利用者 40名 職員 10名	ふれあい ルーム

(2) 緊急連絡網による通報訓練 (火災メールシステム)

実施日時	所要時間	備考
令和 4. 6. 8 10:30～	17時間以内の返信者 32名	事前連絡あり
12. 19 15:00～	17時間以内の返信者 20名	事前連絡なし
令和 5. 1. 23 15:00～	17時間以内の返信者 22名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和 4. 4. 15, 20 15:30～	防災研修	職員 6名	消防設備説明
7. 13 14:30～	防災研修	職員 6名	動画視聴
8. 19 15:00～	放水訓練	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生のため中止	
10. 11 15:00～	防災研修	職員 1名	消防設備説明
令和 5. 1. 17 15:00～	防災研修	職員 12名	YouTube 視聴

[み の り 園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～38名、区分5～10名、区分4～1名、区分3～1 平均区分：5.7
利用率：施設入所支援 95.6%・生活介護 89.4%・短期入所 82.5%
- 2 利用者の動向
退所：6名(医療機関4名、他施設1名、死亡1名) 入所：6名
利用者の年齢は平均 49歳8か月 (男性 47歳5か月、女性 51歳10ヶ月)
最年少 21歳7ヶ月、最年長 83歳11ヶ月で、65歳以上の方は11名となっている。
- 3 令和4年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 日中活動として、歩行、運動、アルミ缶プレス、農園芸、創作活動を実施した。
 - (7) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (8) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (9) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (10) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) <u>非常通報装置入替</u>	429,000円
(2) <u>洗濯乾燥機入替</u>	143,000円
(3) <u>あゆみ棟居間床補修工事</u>	218,900円
(4) <u>渡り廊下屋根補修工事</u>	132,000円
(5) <u>トイレ床張替工事</u>	255,200円
(6) <u>藤の木火災通報設備入替</u>	286,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,205名
 - ② 日中一時支援 延べ 273名
 - (2) 実習生の受け入れ状況 2名 延べ20名
 - (3) ボランティアの受け入れ状況 6名 (県友会)
 - (4) 地域行事への参加、地域学校との交流中止(新型コロナウイルス感染症予防のため)
 - (5) 職員の講師派遣(県主催の研修) 1名
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識技能の習得に努めた。(新型コロナウイルス感染症対策として Web での会議やサポーターズカレッジを有効活用した)
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に協力いただいた。
 - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
 - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。

(5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。

(6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。

8 新潟市への通報事案

- ・令和3年7月 利用者への暴言（心理的虐待の疑い）
- ・令和4年3月 利用者へのスプレー吹き付け（身体的虐待）
- ・令和4年11月 利用者の頭をたたく（調査中）
- ・令和5年4月 〃 （調査中）

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和3.4月	お花見	屋 外	利用者、職員	60名
6月	レクリエーション交流会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.24	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	59名
令和5.1.10	新 年 会	園 内	利用者、職員	72名
2.3	節 分	園 内	利用者、職員	68名

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
令和4.5.6	利用者健康診断 胸部X線間接撮影	園 内	利用者	49名	健康医学予防協会
4月～6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	39名	健康医学予防協会
7.13	前立腺がん検診	園 内	利用者	3名	嘱託医
7.26	大腸がん検診	園 内	利用者	1名	嘱託医
6.14	内 科 検 診	園 内	利用者	49名	嘱託医
10.31、 11.1、 11.9、11.29	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職員	49名 43名	嘱託医
12.7	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	29名	健康医学予防協会
12.6	内 科 検 診	園 内	利用者	46名	嘱託医

7. 5、8. 17、 8. 19、9. 16	コロナワクチン接種④	園 内	利用者	48名	嘱託医
11. 29、 1. 20、2. 27	コロナワクチン接種⑤	園 内	利用者	44名	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者および人数	避難場所
令和4.5.29 10:10～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	9分53秒	利用者44名・職員4名	デイルーム
11.30 10:10～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 地元消防団立会い	7分6秒	利用者46名・職員11名	デイルーム
令和5.2.22 10:30～	地震避難訓練	5分40秒	利用者47名・職員6名	各居室(模擬)
3.19 15:00～	日中火災想定 避難訓練	7分2秒	利用者48名・職員5名	デイルーム

(2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和4.6.14 9:00～	17時間以内返信者31名	事前連絡あり
12.13 9:00～	17時間以内返信者10名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和4.4.17 9:00～	防災研修	職員6名	防災機器取扱説明
7.19 9:00～ 7.22 9:00～	消火器訓練	職員8名	消火器の使用方の説明と水消火器を使用
8.28 15:00～	放水訓練	職員4名	消火栓を全開し放水
10.20 14:30～	防災研修	職員2名	防災機器取扱説明
令和5.2.1 11:30～	非常食体験会	利用者49名	

備考

・本年度も新型コロナウイルス感染対策のため、利用者の避難訓練は控えてもらい職員のための訓練とした。

[第2みずほ園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分：区分6～40名・区分5～6名・区分4～4名 平均区分：5.7

利用率：施設入所支援 96.9%・生活介護 85.8%・短期入所 73.6%（7月より3→4床へ定員増）

- 2 利用者の動向

退所 6名（医療機関 4名 死亡 1名 GH1名）、入所 6名

利用者の年齢は平均 56歳8ヶ月（男性 55歳9ヶ月、女性 57歳7ヶ月）

最年少 22歳9ヶ月、最年長は 76歳5ヶ月、65歳以上は 14名となっている。

- 3 令和4年度の取り組み

- (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
- (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
- (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
- (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
- (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
- (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
- (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
- (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
- (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。

- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) <u>劣化度調査及び修繕計画作成業務委託</u>	<u>3,498,000円</u>
(2) <u>食堂系統エアコン入替</u>	<u>5,170,000円</u>
(3) <u>大型乾燥機入替</u>	<u>913,000円</u>
(4) <u>浴室給湯器入替</u>	<u>979,000円</u>
(5) <u>加湿器購入2台</u>	<u>715,000円</u>

- 5 地域の社会資源として次のことを行った。

- (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況

① 短期入所 延べ 1,071名

② 日中一時支援 延べ 0名

- (2) 実習生受け入れ状況 6名 延べ 59名 (インターンシップ 2名 延べ 4名)

(新型コロナウイルス感染症予防のため)

- (3) ボランティア受け入れ状況 2名 延べ 14名 (新型コロナウイルス感染症予防のため)

- (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流中止(新型コロナウイルス感染症予防のため)

- (5) 職員の講師派遣中止(新型コロナウイルス感染症予防のため Web での交流を行う)

- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。(新型コロナウイルス感染症対策として Web での会議やサポーターズカレッジを有効活用した)

- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。

- (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。

- (2) 利用者への面会は、指定された場所で 30分以内に協力いただいた。

- (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。

- (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
- (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方は来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和4.7月	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.17	納 涼 会	園 内	利用者	51名
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.21	忘 年 会	園 内	利用者、職員	71名
令和5.1.25	新 年 会	園 内	利用者、職員	67名

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和4.8月 ～9月	胸部 X線間接撮影	西蒲中央病院	利用者	42名	西蒲中央病院
4月～6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	39名	健康医学予防協会
5.19～20	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	43名	嘱託医
10月	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
6.15 令和5.1.18	内 科 検 診	園 内	利用者	50名 47名	嘱託医
11.2	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	47名 37名	嘱託医
12.7	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	27名	健康医学予防協会
7～8月 11～12月	コロナワクチン接種④ コロナワクチン接種⑤	園 内	65歳以上 の利用者	12名 11名	嘱託医
7～8月 11～12月	コロナワクチン接種④ コロナワクチン接種⑤	園 内	65歳未満 の利用者	35名 28名	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和 4. 5. 29 10:10～	三園合同避難訓練 (夜間火災想定) 地元消防団立会い	19 分 36 秒	利用者・職員 50 名	第 1 避難場所
9. 28 14 : 30～	水害避難訓練	15 分 40 秒	利用者・職員 70 名	各居室・食堂
11. 30 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定) 地元消防団立会い	11 分 18 秒	利用者・職員 60 名	ひまわり通り 廊下
12. 17 10:30～	総合訓練	11 分 46 秒	利用者・職員 42 名	第 1 避難場所

(2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和 4. 6. 8 14:00～	17 時間以内の返信者 26 名	事前連絡なし
12. 17 10:30～	17 時間以内の返信者 28 名	事前連絡あり

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和 4. 4. 6 14 : 30～ 4. 13 14 : 30～	防災研修	職員 1 名 職員 2 名	消防設備説明
7. 27 14 : 00～	消火器訓練 (水消火器)	職員 4 名	水消火器取扱訓練
8. 27 14 : 00～	放水訓練	職員 12 名	消火栓取扱訓練
10. 19 9:30～	防災研修	職員 2 名	防災設備説明
10. 19 12 : 00～	非常炊き出し 訓練	利用者 54 名 職員 2 名	非常食の提供方法と理解
令和 5. 1. 22 14 : 00～ 1. 29 14 : 00～	防災研修	職員 5 名 職員 4 名	防災に関する映像の視聴
3. 25 14 : 00～	消火器訓練 (水消火器)	職員 4 名	水消火器取扱訓練

[工房はたや]

- 1 多機能型事業所[就労継続支援B型、生活介護事業]として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向
男性 3 名、女性 3 名が利用を開始。
通所利用登録者 34 名（男性 17 名、女性 17 名）※新潟市 33 名 燕市 1 名
登録利用者の平均年齢は 36.8 歳、最年少 20 歳 最年長 70 歳となっている。
- 3 令和 4 年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 授産作業として、養生シート洗浄作業・配管キャップ洗浄作業・デコニー袋詰め作業・密閉クリップ袋詰め作業・タオル包装・封入・委託作業（新潟県・新潟市）を実施した。
 - (4) 法人入所施設にて委託作業（物品補充、在庫管理）を実施した。
 - (5) 近隣農園での農作業・福祉の店パレット販売業務の施設外就労を実施した。
 - (6) 事業所内共通行事は、8 月納涼会、12 月忘年会、1 月新年会、11 月～2 月グループ外出を実施した。
 - (7) 生活介護行事は、4 月花見、7 月七夕、10 月ハロウィン、12 月クリスマス、2 月節分、3 月ひな祭りを実施した。
 - (8) 避難訓練は 11 月と 3 月に実施した。
 - (9) 虐待通報を受け、毎夕のミーティング時に利用者支援における言動や行動等で不適切な対応はなかったか意見交換し、虐待防止に全職員で取り組んだ。
- 4 地域の社会資源として次のことを行った。
地域イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となる。
また、地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行った。
 - (1) 日中一時支援受け入れ状況 1 名 延べ 18 日
 - (2) 実習生の受け入れ状況 延べ 0 名 （先方より利用キャンセルの為）
 - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ 0 名 （希望される方がいなかった為）
- 5 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議へは参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症対策として Web での会議やサポーターズカレッジを有効活用した）
- 6 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
 - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
 - (2) 利用者には毎日の体温チェック、手指消毒を徹底し、事業所内は常時換気、仕切り板の設置、食事は場所を分散し摂取した。
 - (3) 来所者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
 - (3) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。

[わぁ〜らく]

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		18	28	11	14	18	16	16	11	14	10	19	16	191	830
	モニタリング		41	47	53	56	50	55	62	66	44	58	52	55	639	
児	計画		3	3	5	6	5	6	2	4	6	3	1	1	45	125
	モニタリング		2	6	18	4	4	9	4	13	2	6	7	5	80	

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数：337名（内、児童41名）※令和5年3月31日現在

(2) 基本相談含む相談および支援等実績（延件数）：年間2,644件（内、児童659件）

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 0件（退院）、地域定着 0件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター（平成30年度より、代表法人として受託）
 新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として
 協定を結び、相談員1名、主任相談員兼障がい児支援コーディネーター1名、
 事務兼相談補助員1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人
 社会福祉法人 自立生活福祉会、社会福祉法人 新潟しなの福祉会
 社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市（令和4年4月1日～令和5年3月31日、実績なし）

他 佐渡市、南相馬市（実績2件）

4 地域での啓発活動

地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西区地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会等に参加し、ネットワーク形成に尽力した。

【檜の木】

1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分：区分 6～6 名、区分 5～4 名、区分 4～6 名、区分 3～13 名
区分 2～7 名、区分 1 以下～4 名 平均区分：3.3

利用率：94.3%

2 利用者の動向

退所 3 名 入所 5 名

利用者の年齢は平均 50.7 歳（男性 43.1 歳、女性 55.6 歳）

最年少は 20 歳、最年長は 73 歳で、65 歳以上の方は 8 名となっている。

3 令和 4 年度の取り組み

(1) 「もみじ」（定員 7 名）、「あじさい」（定員 6 名）、「ケアホームみずき野壺番館」（定員 7 名）、「ケアホームみずき野式番館」（定員 5 名）、「さくら壺番館」（定員 6 名）、「さくら式番館」（定員 6 名）「さくら参番館」（定員 6 名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。

(2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気を大切に、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。

(3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。

夏季期間（7 月～9 月）は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。

(4) 防災対策として、ホームごとに避難訓練を実施した。

(5) 令和 3 年度社会福祉等施設整備費補助金の交付決定を受け、もみじ、あじさい創設工事を行い、10 月末に完成。11 月中旬より引っ越し・生活を開始した。もみじ定員を 4 名から 7 名、あじさい定員を 5 名から 6 名に増員した。

(6) 新型コロナウイルス感染防止対策

① 噴霧器、除菌電解水給水器等の設置、補助金を活用しマスク、グローブ、エプロン、アルコール消毒剤等整備した。

② 利用者の外出・外泊は、自粛をお願いした。

③ 来客者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。

④ 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。

⑤ 職員及び利用者にて新型コロナウイルス陽性者が発生したが、新型コロナウイルスまん延防止マニュアルに沿った支援を行い感染拡大防止に努めた。

4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。

※もみじ あじさい 創設工事 107,250,000 円

※もみじ あじさい 創設建築設計管理業務委託料 5,214,000 円

(1) みずき野壺、式、さくら壺 火災通報設備入替 858,000 円

(2) さくら壺番館 サンプルーム設置工事 693,000 円

(3) さくら壺番館 サンプルーム火災報知器設置工事 154,000 円

(4) みずき野壺、式、さくら壺、式、参 エアコン洗浄 550,000 円

(5) <u>みずき野舎 居室エアコン取替</u>	217,800 円
(6) <u>もみじ あじさい創設 初度備品購入</u>	2,622,400 円
(7) <u>さくら舎 排水ポンプ交換</u>	225,500 円
(8) <u>みずき野式 洗濯乾燥機入替</u>	186,780 円
(9) <u>みずき野式 浴室入口床補修工事</u>	113,850 円

5 行事等の実施

(1)地域との交流行事は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

6 新潟市への通報事案

3月に一般市民より GH 世話人の言動について不適切ではないかとの通報があり、当該職員を含め数名の聞き取り調査が行われた。

虐待認定はなかったが、世話人との定期的な対話が必要との指摘がある。

【みっと】														
1 活動内容														
(1) 利用者（児）が居宅において、自立した日常生活を営むことができるように支援した。														
(2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。														
(3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。														
2 活動報告														
(1) 居宅介護事業														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2021年度
利用延べ人数	13	13	15	15	19	19	14	15	12	12	18	16	181	153
(2) 同行援護事業														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2021年度
利用延べ人数	16	19	25	23	18	17	27	23	23	13	17	20	241	65
(3) 行動援護事業														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2021年度
利用延べ人数	17	20	19	14	13	10	19	20	17	9	19	21	198	69
(4) 移動支援事業														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2021年度
利用延べ人数	120	147	165	139	98	126	146	132	121	110	131	133	1,568	1,323
(5) 福祉有償運送事業														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2021年度
利用延べ人数	132	156	177	160	107	140	168	141	138	116	139	152	1,726	1,369
車両運行時間	55時間30分	59時間40分	74時間40分	40時間	26時間40分	35時間20分	63時間	62時間35分	57時間20分	49時間30分	60時間15分	59時間	653時間55分	668時間25分
運行距離(km)	1,804	2,059	1,704	2,072	1,608	1,886	2,187	2,014	1,858	1,699	2,041	2,152	23,858	22,554

【おおらい】

- 1 生活介護事業として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分 6～17 名、区分 5～15 名、区分 4～13 名、区分 3～9 名
平均区分：4.7
利 用 率：86.1%

- 2 利用者の動向
利用者の年齢は平均 47 歳 6 か月（男性 45 歳 7 か月、女性 51 歳 9 か月）
最年少は 18 歳、最年長は 84 歳で、65 歳以上の方は 11 名となっている。

- 3 令和 4 年度の取り組み
 - (1) 令和 2 年 4 月 1 日、生活介護・日中一時事業所として開設し、利用者の安心・安全に配慮し、ゆったりと過ごせる空間の提供に努めた。
 - (2) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の作成と実践に努めた。
 - (3) 嚥下・咀嚼機能等個々の状態に合わせた形態での食事・おやつを提供した。
 - (4) 身体状況に合わせた 2 種類の浴槽で安心・安全な入浴サービスの提供に努めた。
 - (5) 大型モニターでインターネットを使用した活動やストレッチ体操、リハビリ、レクリエーション活動など楽しみのある活動の提供に努めた。また、利用者に合わせた個別活動や四季の行事等、季節を感じられる活動の提供に努めた。
 - (6) 1 日 2 回（朝・昼）利用者のバイタルチェックを実施した。
 - (7) 年 2 回（5 月 30 日、11 月 17 日）おおらい及び総合支援センター全体で避難訓練を実施し職員の防災意識の向上に努めた。
 - (8) 新型コロナウイルス感染防止対策として噴霧器、アクリルボード等設置、アルコール消毒剤、顔認証検温システム等整備した。また利用開始、終了時の徹底した清掃・消毒・換気を実施し感染防止対策を継続した。
 - (9) 新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで、事業を休止することなく、在宅障がい者（児）の受け入れを積極的に行った。
 - (10) 外部のボランティア、ヨガ教室（月 2 回）コンサート（月 1 回）について受け入れを開始した。
 - (11) 特別支援学校生徒の職場体験（見学等）の受け入れを実施した。
 - (12) 社会貢献活動（公益的取組）として越後赤塚駅舎の清掃を定期的実施した。

- 4 職員の資質向上を図るため定期的にオンライン講義を視聴した。